



▶ 干拓地を力走

11月20日、笠岡陸上競技場を発着点として「第9回いふあーむ笠岡マラソン大会」が開催されました。今年は、ハーフマラソンが三年ぶりに復活して、10 km、5 km、3 km、1.5 kmとあわせて約1000人が参加しました。

ランナーたちは、すっきりと晴れた秋空のもとで颯爽と走り、また、親子で参加した人たちも最後は手をつないでゴールして絆を深めました。

◀ 栄誉をたたえて…

11月3日の文化の日に、「文化の日記念表彰式」が保健センターギャラクシーホールで執り行われました。

今年の受賞者は、桑田昌光さん、土屋圭示さん、水川護山（善三郎）さん、森谷昌哉さんの4名で、皆さんには記念の楯や花束が贈られました。この賞は、毎年、文化・産業などあらゆる分野で貢献されている個人・団体に笠岡市が贈るものです。（受賞者の功績などは「広報かさおか11月号」に掲載しています。）



▶ 「沖縄チムンドン」で ドキドキワクワク

11月20日、保健センターを主会場に、かさおか健康福祉まつりが開催され、子どもから高齢者までが、健康と福祉に関する講演や多彩な催しに参加し、秋晴れの日を楽しみました。

ギャラクシーホールでは、沖縄の民俗楽器をモチーフにした楽器作りに挑戦。完成した後は、沖縄三線が奏でるメロディーに合わせて楽器を鳴らし、会場中を輪になって楽しく踊り、訪れた多くの人から注目を集めていました。



◀ ほら、この魚三枚におろせる？

子どもたちに漁業に親しんでもらおうと11月8日、「大島海辺の教室」が大島海見える家で行われました。

今回、参加したのは陶山小学校の4年生から6年生。まずは、船に乗って定置網漁の見学に行き、網の中から大きな魚が出てくると「すごい！」と大興奮。その後、大島漁協婦人部の手ほどきを受けながら、先ほどとれたばかりの魚をさばきました。さばいた魚はみんなでもバーベキューをしておいしくいただきました。

また、午後からは子ども競り市が行われ、保護者や先生を相手に「100円から！はい、あなた！」と、大きなかけ声をあげていました。

